

フォーティーズ便り

発行:横濱フォーティーズ野球倶楽部
報道部編集

http://www.office-thank.com/~forties/

特集 第38回寿野球全国大会 平成25年5月12日 長野県千曲市



今年のプラカード嬢は超恥がしがり屋さんでした



旗手塚田選手堂々の入場行進です

今年から優勝チームを主体に準優勝チーム+αから役員を除く15名以内と編成が変わった。5月11日(土)小雨降り頻るなか横浜天理ビル前を昨年度リーグ優勝浜翔チームと若干の補強の総勢17名、フォーティーズ専属唐澤氏運転のバスで信濃路へと出発。今回はメンバー的に静かな旅になるかと思われたが、車中は例年と変わらず大賑わい。マネージャ岡崎氏は1年掛けて飲む量と同じ量を車中で飲み、レッドゾーンを振り切りっぱなしで盛り上げる。おかげであつと言う間に上田に到着し飯島商店でお土産の購入。店を後にする頃には小雨になり、「梅むら」の女将に迎えられた時にはすっかり上がって明日の野球は出来そうだ。今年初参加の森田・磯両氏を含め宴もたけなわ野球談義も盛り上がる。翌日は朝から好天、皆早起き早めの朝食でご飯を何杯もお代わり、良く朝からあんなに沢山食べられると感心。開会式場は昨日の雨でまだ水溜りが彼方此方に残り、グラウンドは不良状態だが晴れた天気徐々に回復し、予定通り式は開催された。いつも通りプラカード嬢を囲んでスコアボード前で記念撮影、全国から集まった65チームと共に整列。Aリーグに上がったため整列場所は前列となり、更に来年は上に行くぞと決意も新たに。今年からチアガール達の華やかなダンスも加わり入場行進を盛り上げる。塚田選手が今回が最後になるかもと、投球練習ではなく開会式参加を希望。それならば、という事で務めていただいた旗手として本部前を堂々と団旗を掲げ行進する。打ち上がる花火の音に送り出されて試合会場へ移動。会場のグラウンドは状態不良で整備のため30分程遅れての試合開始となる。

第8回大会に初参加し途中17回大会で抽選漏れで連続出場は惜しくも途切れたが、今年の38回大会に臨んで丁度30回目の出場を果たした。当初からの目標であり夢でもあり前会長の悲願でもあった最高優勝会長杯の獲得は未だ果たしていない。今年Aブロックで優勝し、来年以降の各会長杯を制し確実に上に上がって行こう。



後ろは大盛り上がり、前の方は寝てます



塚田投手、真剣な投球練習。やる気満々です。

- 遠征参加メンバー○●
- | | |
|-----------|-----------|
| 会長 小林 一三六 | 運長 伊藤 慎悟 |
| 報道 高須賀 隆 | 監督 犬塚 公一郎 |
| 主将 土門 純 | マネ 岡崎 四郎 |
| 館 公正 | 塚田 惣治郎 |
| 福島 武男 | 時長 秀敏 |
| 茜屋 重雄 | 森田 仁朗 |
| 石川 伸哉 | 佐藤 隆 |
| 磯 典夫 | 持丸 末博 |
| 斉藤 敏美 | 以上17名 |



坂城町文化センターAグラウンド(晴れ)

①第1試合【Aブロック1回戦】

土門 満塁一掃勝越三塁打
時長 鮮やかなセフティバントで勢い

	(2)	(1)	(0)	(3)	(9)	計	安打
横濱フォーテース	1	0	0	2	6	9	(15)
坂城町寿野球 (坂城町)	2	0	0	1	0	3	(7)
	(3)	(0)	(0)	(2)	(2)		

勝 持丸 敗 勝俣

MVP: 土門 V打: 土門

敢闘賞: 時長

三塁打: 持丸・土門(横濱) 町田・神林(坂城)

二塁打: 川島・竹内禎(坂城)



アニキ! お見事!
素晴らしい右越三塁打。

土門



試合の流れを変えた
絶妙なバントヒット
でした。

時長

②第2試合【Aブロック決勝戦】

塚田・持丸の継投で逃げ切る
館 粘って押し出しのV打点

	(2)	(1)	(2)	(0)	(1)	計	安打
オール戸出	1	0	0	0	0	1	(6)
横濱フォーテース	0	3	1	0	X	4	(4)
	(0)	(3)	(0)	(1)			

勝 塚田 S 持丸 敗 中島

MVP: 塚田・持丸 V打: 館

三塁打: 橋本(戸出)

二塁打: 中島(戸出)



素晴らしいピッチングの投手コンビ。
塚田&持丸



← 会長胸上げ
監督代理の胸上げ →

坂城町		打	安	打	盗
守	氏名	数	打	点	塁
①	8 町田	2	1		
②	6 西沢	2			
③	5 神林	2	2	1	
④	DH 風間	2			
⑤	1 川島	2	2	1	
⑥	4 竹内義	1			
⑦	9 青木	1			
⑧	1 村田	1			
⑨	2 春日	2			
⑩	7 勝俣	2	1		
⑪	3 竹内禎	2	1		
	DH 鈴木	2			
チーム計		20	7	2	0

※守備位置はスタート時

投手	回	安	三	四	失	投手	回	安	三	四	失
氏名	数	打	振	球	点	氏名	数	打	振	球	点
川島	3	3	2	1	1	塚田	3	3	1	2	2
村田	1/3	3	1	0	2	持丸	2	4	1	0	1
勝俣	12/3	9	0	0	6						
チーム計	5	15	3	1	9	チーム計	5	7	2	2	3

横濱		打	安	打	盗
守	氏名	数	打	点	塁
①	6 石川伸	2	2		1
②	5 土門	2	2	3	1
③	3 磯	3	2	1	2
④	2 斉藤敏	3	2	2	
⑤	7 森田	2	1		
⑥	9 犬塚	3	2	2	
⑦	4 持丸	3	2	1	
⑧	8 佐藤隆	3			
⑨	1 塚田	1			
⑩	PH 時長	1	1		
	DH 館	2	1		
チーム計		25	#	9	4

初回切り込み隊長の石川伸が中前打と盗塁。土門四球の後、磯の内野ゴロで1死二・三塁とし、斉藤敏左前打で石川伸に続いて土門がホームを狙うが封殺で1点止まり。その裏坂城も先頭の町田がいきなり中越三塁打、1死後3番神林の左越三塁打で同点、2死後川島の左越二塁打の3本の長打であっさり逆転する。塚田は立ち直り2・3回を3者凡退に抑える、4回2番手村田から土門、磯の連打、森田四球の後、燃える犬塚監督自らの中前打で2者が再び逆転。その裏坂城は2番手持丸を攻め、神林の中前打を足掛かりに川島の中前打で同点に。時間規定による終回、岡崎マネがメンバーを集め陣を組んで気合を入れる。1死後時長の意表をつくサード前バントヒットで出塁し続く館が左前打、トップに戻り石川伸の中前打で満塁。絶好のチャンスに土門が右越走者一掃の三塁打で勝ち越してからは、磯、斉藤敏、森田、犬塚、持丸まで何とこの回9連打で6点を奪って勝負を決めた。3つの併殺を含む堅実な守備で初戦を快勝して勝ち上がる。

横濱		打	安	打	盗
守	氏名	数	打	点	塁
①	6 石川伸	3	2	1	
②	5 土門	3			
③	3 磯	3		1	
④	2 斉藤敏	1			
⑤	4 持丸			1	
⑥	7 森田	1			
⑦	8 佐藤隆	2	1		
⑧	9 岡崎	1			
	PH 茜屋				
	PR 橋島				
⑨	1 塚田	1	1	1	
	4 時長	1			
⑩	DH 館			1	
チーム計		16	4	3	2

※守備位置はスタート時

オール戸出		打	安	打
守	氏名	数	打	点
①	6 笹田	3		
②	4 橋本	3	1	
③	7 上野	3	2	1
④	8 佐野	2		
⑤	1 中島	3	2	
⑥	3 吉田	3		
⑦	2 二上	2	1	
⑧	5 井上	2		
⑨	9 松本	1		
チーム計		22	6	1

初回戸出先頭の笹田が二飛落球で一気に二塁まで進み、3番上野の右前適時打で先制。5番中島の左翼線二塁打で尚2死二・三塁と追加のチャンスも吉田の2飛を今度はガッチリ捕球し追加点を阻止。2回横濱は1死後持丸・森田が連続四球、佐藤の右前打で満塁。2死後塚田が見事に右前に弾き返し同点。続く館が良く粘り押し出しの四球を選び勝越し、トップに戻り石川の右前適時打で3点目をあげる。3回磯がエラーで出塁し斉藤敏が四球の一・二塁で持丸が送った後、暴投で貴重な追加点をあげる。塚田は2・3回と走者を出すも要所を抑える投球を凌ぐ。4回は共に三塁まで走者が進むが1本が出ず得点ならず。時間切れによる終回、戸出は先頭の橋本が右越三塁打で出塁も持丸の絶妙な牽制に刺される。レフトとライトを入れ替える懸命の守りも、交代を自重した矢先にライトフライ落球で2死二・三塁の大ピンチ。しかし持丸が懸命に踏ん張り6番吉田を三塁ゴロに打ち取り辛くも逃げ切り、ブロック優勝を決める。



表彰式
監督代理と
会長です



ようし、来年は冠杯だ! まだまだ上がるぞ